

# 区議会報告

昨年は吹き荒れるコロナ禍により、区民の安全安心な暮らしが大いに脅かされました。こうした中、青木区長と共に、コロナ禍を乗り越えるための対策として、感染予防や緊急経済対策などのさまざまな緊急課題に取り組んでまいりました。

本年も昨年から続くコロナ関連の対策経費を含め歳出の増加、また歳入が減少することも予想されます。財政的に大変に厳しい状況が続きますが、感染拡大防止と社会経済活動の両立を図って、区民の皆様との協働のもと、山積する課題に強い信念で取り組み、皆様のご要望を的確に区政に反映するため、区民第一の姿勢で施策の実現に向け邁進してまいります。

今年一年が皆様にとって幸多い一年でありますよう心からご祈念申し上げます。



## 令和2年第4回定例区議会が19日間の会期で開催

令和2年11月26日から12月14日の19日間の会期で令和2年第4回定例区議会が開催され、予算案2件、条例案7件、人事案1件、契約案9件、請願1件、議員提出議案5件、計25件についての審議が行われました。

11月26日の区長発言に始まりその後の一般質問後、議案17件一括上程、副区長による提案者説明と委員会付託、その後、議員提出議案一件上程し本会議を休憩、総務委員会・文教委員会を開催し3件の議案を審査、その後本会議を再開し、3件一括上程、委員長報告、採決を行い3件とも原案の通り可決されました。また、11月30日から4常任委員会で議案の審査及び庶務報告、12月7日から3特別委員会で請願の審査と庶務報告を受け、12月14日に採決のための最終本会議が開催され、請願1件が不採択、その他の全議案が原案の通り可決、19日間の第4回定例会が閉会しました。

今定例会では、議会運営委員会委員長として、4回の議会運営委員会理事会と議会運営委員会、総務委員会、都市基盤整備特別委員会に出席し、日頃の地域の皆様の代弁者として各般に渡り発言をさせていただきました。



TSUTSUI TAKAHISA

# 筒井たかひさ

## 一般会計補正予算（第7号・8号）が原案通り可決

第7号は歳入歳出にそれぞれ36億8,127万円を追加、第8号は歳入歳出にそれぞれ3億8,983万円を追加し、予算の総額を2,666億5,706万円とする一般会計補正予算案が原案の通り可決しました。

補正予算第7号の主な内容は、新型コロナウイルス感染症対策として国や東京都の補助金を活用し、重症化リスクの高い高齢者や福祉施設職員等が行政検査に該当しないPCR検査を希望した場合の経費やショートステイ利用者を新たに追加で助成対象とするための経費3億4,828万円、感染症の拡大により、事業活動で影響を受けた区内中小企業・小規模事業者に対し業態転換や経営の多角化を支援するための特別融資の創設に2,267万円、そのほか、早急に財政措置が必要と判断される経費として、養護老人ホーム入所者数の増加に対応するための経費3,386万円、新小岩から奥戸・細田・鎌倉地域を循環するバス路線の運航経費の助成1,276万円、新小岩駅周辺や密集住宅市街地、都市計画道路や公園など事業の進捗により必要となる用地取得にかかる経費などを計上。

補正予算第8号の内容は、新型コロナウイルス感染症対策として、ひとり親世帯臨時特別給付金事業経費に2億8,976万円、営業時間短縮感染拡大防止協力金給付事業経費に1億7万円を計上しました。

生き生きと生活できる

『葛飾』に向けて頑張ります！

安心・安全・元気な葛飾  
のために全力疾走



## 京成本線荒川橋梁 架替事業が進展

「京成本線荒川橋梁架替に係る、事業調整協議会」が設立され、11月17日の第1回目の協議会では、現在の進捗状況、今後の工程が詳しく説明され、架替工事は令和4年から着手予定との報告がありました。

荒川橋梁の堤防は、本区にとって長年の懸案でしたが、昨年の台風19号で、懸案から現実の脅威になりました。架替までの間、土のうの対応のみでは、地域でも不安があります。自由民主党議員団としても京成本線荒川橋梁付近の堤防の切り欠き部での、より強固な止水対策の実施を強く要望していたところ、この度、荒川橋梁堤防部にコンクリート擁壁であるパラペットを令和3年度設置するとの回答が国土交通省よりありました。

この決定は、長年水害対策に不安を抱えてきた本区にとって大きな前進であり、この間取り組んできた自民党の成果であるといえます。



京成本線荒川橋梁架替事業 新橋設置時のイメージ



## 青砥橋にエレベーター設置 を求める意見書が可決

自由民主党議員団発案で、都道環状七号線の青砥橋にエレベーター設置を東京都に求める意見書を今定例会に提出し、定例会最終日に全会一致で可決されました。

高砂一丁目側の住民の多くは、通勤・通学をはじめ、生活に必要なスーパーやコンビニ、病院等を利用するため、青砥駅との行き来はこの橋を渡っています。しかし、この橋に上がる階段は60～70段あり、スロープは150m～160mと長く、車椅子の方やベビーカーを押す方が安全に休む踊り場もありません。

地域住民にとって日常に密接した橋でありながら、日々大変な思いをしながら渡らなければなりません。区内でもバリアフリーの改善が必要とされる多くの橋の中でも、青砥橋は突出して早期の対策が必要であるため、小池都知事あての意見書提出に至ったものです。

また、青砥橋のエレベーター設置の早期実現に向け、12月25日に青木かつのり区長と共に東京都に要望に行ってまいりました。



左から 中島建設局長、青木区長、筒井たかひさ

## 『一級建築士が葛飾を再構築！！』

- 昭和37年葛飾区亀有生まれ
- 葛飾区立道上小学校卒業
- 葛飾区立亀有中学校卒業
- 私立市川学園高等学校卒業
- 日本大学理工学部建築学科卒業（原子力発電所の耐震を研究）
- 大日本土木(株)海外事業部勤務
- (株)筒井工務店代表取締役
- 平成3年一級建築士、平成5年一級建築施工管理技士免許取得
- 平成21年葛飾区議会議員初当選、現在3月期目
- 第68代葛飾区議会議長、予算審査特別委員長、農業委員等歴任
- 所属委員会：議会運営委員会委員長、総務委員会、都市基盤整備特別委員会

区政並びに区議会に関する区民の皆さんのご意見、ご感想、ご要望をお聞かせ下さい。



次回の定例区議会は令和3年2月16日から3月26日まで39日間の開催予定です。令和3年度の予算審査が行われます。

区政並びに区議会に関する区民の皆さんのご意見、ご感想ご要望をお聞かせ下さい。お問い合わせは下記まで。

発行人：葛飾区議会議員 **筒井たかひさ**

連絡先：筒井たかひさ事務所

【住所】葛飾区亀有3-40-5

【電話】03-3602-4415 【FAX】03-3602-4686

【メール】takahisa@tutui.co.jp

<http://tsutsui-t.com>